



目次

制度紹介	2
工業所有権取得促進補助金他	
和泉市無料職業紹介センター	
融資制度の紹介	3
特集	4・5
和泉市ものづくりサポートセンター	
テクノステージ和泉	6
商工業者の経営をサポート	7
地場産業紹介	8

和泉市ものづくりフェスタ

平成16年11月10日と11日に「マイドームおおさか」3Fで行われた「まいどおおきに博」において、「和泉市ものづくりフェスタ」を開催しました。

大阪府内外を問わず約150企業が出展した「まいどおおきに博」は、毎年、中小企業が中心となり開催されているもので、新事業を計画している事業者を中心に、2日間で延べ2万人の来場者がありました。

開催当日には会場である「マイドームおおさか」の1Fでは東大阪市、2Fでは大阪商工会議所がそれぞれ展示会を開催しました。まさに大阪のものづくりにふさわしい賑わいでした。

本フェスタでは、和泉の地場産業である「I Pearl」の紹介をはじめ、ハイテク企業やテクノステージ和泉に進出した企業など、8社1組合が参加しました。

事業者の皆さんを応援します

● 工業所有権取得に補助金を交付

（特許権・実用新案権・意匠権・商標権）

和泉市では、「和泉市中小企業等工業所有権取得促進補助金」制度を実施しています。これは中小企業・ベンチャー企業等の競争力向上のため、市内事業者の皆様が出願する工業所有権（特許権・実用新案権・意匠権・商標権）の取得に対し、要する経費の一部を補助する制度です。

◇補助対象者

和泉市に事業所を有し、かつ、現在事業を営んでいる中小企業者（創業予定者含む）。

◇補助金

工業所有権	種 類	補 助 金
特許権	出願手数料	全額（印紙税相当額）
	審査請求手数料	10万円以内
実用新案権	出願手数料	全額（印紙税相当額）
意匠権	出願手数料	全額（印紙税相当額）
商標権	出願手数料	全額（印紙税相当額）

工業所有権の区分に応じ、出願手数料の全額、または、審査請求手数料の一部を補助します。（上表のとおり）

ただし、同一の者に、一年度内で交付する限度額は20万円、特許庁申請後3ヶ月以内に商工観光課備え付けの申請書に必要事項を記入して申請してください。

◇申請書類（和泉市役所 商工観光課備え付け）

①「中小企業等工業所有権取得促進補助金交付申請書」

<添付書類>

- ・特許庁発行の特許、実用新案、意匠、商標申請の受領書の写し
- ・上記申請に係る手数料等証となるもの
- ・指定の創業計画書（商号又は法人名、事業所開設場所、開設（予定）年月日、業種）

● 「中小企業人材育成支援事業補助金」制度

和泉市では「中小企業人材育成支援事業補助金」制度を実施しています。

これは、新技術・新商品の開発や新分野への進出などのための人材育成研修を受講・修了した場合、その経費の一部を補助する制度です。

受講修了後1ヶ月以内に商工観光課備え付けの申請書に必要事項を記入して受講修了証明書（様式第2号）を添えて申請してください。

◇補助対象者

市内の中小企業の事業主及び従業員で次のいずれかの機関が行う研修を修了した者

- （1）大阪府立産業技術総合研究所
- （2）中小企業大学校
- （3）南大阪地域産業振興センター
（じばしんOAスクールを除く）
- （4）大阪繊維リソースセンター

◇補助金額

受講料の半額（1人5万円限度、1事業者につき20万円限度）

◇申請書類（商工観光課備え付け）

「和泉市中小企業人材育成支援事業補助金交付申請書」

<添付書類>

研修実施機関の受講修了証明書（様式第2号）

◇申請手続き

和泉市都市産業部商工観光課へ

“人材が欲しい・仕事がしたい” そんな思いを

「和泉市無料職業紹介センター」が橋渡し

和泉市では、職業安定法の改正に伴い、全国の市町村で初の就労困難者を中心に職業紹介・あっせんを行う「和泉市無料職業紹介センター」を開設しています。

「人を採用したい」そんな事業者を応援！！

☆人材募集にかかる経費を節減したい。

☆人を募集したいが手続きが面倒だ。

☆求人の手続きに行きたいが、なかなか時間がとれない。

そんな事業者さんは、和泉市役所労働政策課までご連絡ください。

その他、当センターで一定条件の人材を採用された場合にも、職業安定所と同じく各種人材確保に係る助成金制度が活用できます。求人相談時に問い合わせてください。

近くで仕事がしたい！そんなあなたに就職情報を提供

☆テクノステージ和泉で仕事がしたい。

そんな求職者の方は、一度「和泉市無料職業紹介センター」を訪ねてみてください。

所在地：（和泉市役所都市産業部労働政策課内）

和泉市無料職業紹介センター

電話：0725-41-1778（直通）



H16.6.15 テクノステージ合同就職面接会



H16.11.25 「就職情報フェア」

中小企業の皆さんへ融資のご案内

市では、府の中小企業者向け融資のあっせん業務（保証協会や金融機関への経由機関）を取り扱っています。また、商工会議所では、国民生活金融公庫の融資制度のあっせん業務を行っています。

融資制度には、様々な種類があり、事業所の要件や希望等により異なってきます。利用される場合は各窓口にご相談ください。今回はこの取り扱い窓口の発行日現在の融資制度を紹介します。なお金利等の内容について変更されることがあります。（平成17年4月）

●大阪府制度融資（抜粋）

制度名・区分	融資限度額	期 間	利 率	信用保証料	担保・保証人（第三者、連帯）
小規模資金	1,250万円	7年以内	年1.6%	年1.0%以下無保証人	条件により保証人要 担保不要
経営基盤確保特別融資 （ステップアップ資金）	12,000万円 （内無担保8,000万円）	運転資金7年以内 設備資金10年以内 （無担保7年以内）	年1.3%	年1.25% 有担保 年1.35% 無担保	有担の場合、原則不要 無担の場合、必要
一般資金	（長期）12,000万円 （内無担保8,000万円） （短期）8,000万円	運転資金1年超7年以内 設備資金10年以内 （無担保7年以内） 運転資金1年以内	年1.8% （1年以内の場合 年0.75%）	無担保有保証人 年1.35%以下 有担保 年1.25%以下	有担の場合、原則不要 無担の場合、必要
開業資金	1,500万円 無担 2,000万円 有担	運転資金のみは5年以内 運転・設備資金7年以内	年1.5%	年1.35%以下 無担保 年1.25%以下 有担保	無担の場合、必要 有担の場合、原則不要 ※自己資金要件あり

●和泉市中小企業融資

制度名・区分	融資限度額	期 間	利 率	信用保証料	担保・保証人（第三者、連帯）
中小企業あっせん融資	400万円	運転資金3年以内 設備資金4年以内	年1.55%	保証協会にて定める利率	無保証人 50万円以下 担保不要 有保証人 50～400万円 担保不要

●融資利用者に対する市の支援

和泉市では、融資利用者（和泉市中小企業あっせん融資、小規模資金融資、開業資金等）に対して、支払い利子等の一部を助成しています。

問合わせ先
和泉市商工観光課 0725-41-1551
大阪府中小企業信用保証協会堺支所 072-223-3011

◇国民生活金融公庫一般事業資金（抜粋）

融資制度・対象・資金使途	限度額・利率	返済期間・返済方法	担保・連帯保証人
普通貸付 一部の業種を除く中小企業 （金融業、投機的事業、一部の遊興娯楽等の業種の方はご利用になれません。）	4,800万円 （特定設備資金7,200万円） （設備）10年以内 年1.65% （運転）5年以内 年1.65%	（設備）10年 （特定設備資金20年）以内 据置2年以内 （運転）5年 （必要な場合7年）以内 据置6ヵ月 （必要な場合1年）以内 原則、毎月元金均等返済または元利均等返済	担保 必要に応じ求める 保証人 原則1名以上
小企業等経営改善資金貸付 （マルケイ融資） 商工会議所または商工会の実施する経営指導を6ヵ月以上受けている方で、商工会議所等の推薦を受けた従業員20人（商業・サービス業5人）以下の会社・個人	550万円（特例として平成18年3月31日まで1,000万円） 年1.35%	（設備）6年 （特例として7年）以内 据置6ヵ月以内 （運転）4年 （特例として5年）以内 据置6ヵ月以内 毎月元金均等返済	担保 不要 保証人 不要

問合わせ先
和泉商工会議所 0725-46-4141 国民生活金融公庫 06-6536-4649

総合相談窓口 和泉市ものづくりサポートセンター 0725-46-9000

特 集

和泉市ものづくり サポートセンター

和泉市ものづくりサポートセンターは、市と商工会議所の連携の下、やる気のある「ものづくり企業」を支援するため、和泉商工会議所内に開設しています。

国、府などの中小企業支援施策の活用や、大学をはじめ先端企業との橋渡しなどを事業者さんの立場で、お手伝いさせていただきます。気軽にご相談ください。

和泉市ものづくりサポートセンター（和泉市府中町四丁目20-2）

電話：0725-46-9000 FAX：0725-46-9001

URL：http://www.monodukuri.izumi.osaka.jp



企業（経営者）の

まずはご相談ください

和泉市ものづくりサポートセンター

こんなとき

- 新しい会社を創業したい ●異業種交流したい
- 新たな販路を開拓したい ●特許取得したい
- 新しい技術を開発したい ●ビジネスパートナーを探したい
- 資金の調達を考えている ●公的支援制度を知りたい

↓ 直接、企業に
経営、管理等

- ◎府立産業技術総合研究所など
- ◎国・府の支援機関、大学等
- ◎専門機関斡旋、公的支援制度の一元的相談

和泉市ものづくりフェスタ



会場入り口と案内表示



本フェスタが11月10日(水)～11日(木)マイドームおおさかで開催された「2004まいどおおきに博」に併催しました。期間中約2万人の方々が来場、展示ブースには、熱心に出展者の説明を聞き入る中小企業の企業経営者や大手企業の技術者でにぎわいました。





ご相談ください

業種の企業等と交流したい
 許や実用新案の申請をしたい
 ジネスパートナーを探している
 的な支援制度を活用したい

に訪問し
 等の要望、一緒に解決

ど地元機関との連携
 との連携
 度の紹介、融資制度の



募集・紹介

■科学技術セミナー「ナノテクってなに？」

研究成果活用プラザ大阪では、次のとおり科学技術セミナーを開催します。
 日時：4月22日（金）午後2時～
 会場：和泉シティプラザ レセプションホール
 講演予定者：小川久仁（大阪大学ナノイテック・ナノテクノロジー推進機構特任教授）
 中山喜萬（大阪府立大学 大学院工学研究科教授）
 問い合わせ：研究成果活用プラザ大阪 ☎51-3350

■技術開発、販路開拓に取り組む方へ

本年4月から、従来の中小企業経営革新支援法、中小企業創造活動促進法、新事業創出促進法が統合され「(仮称)中小企業新事業活動促進法」が制定されます。新法では技術開発、経営相談から販路開拓まで一貫した支援メニューが利用しやすくなります。異業種間で、技術・ノウハウなど相互補完するための各種の手厚い支援予算が準備されます。当センターでは、個別企業の経営革新計画のアドバイス、申請書の記載、大阪府との調整等を行います。

和泉市ものづくりフェスタ

＜アンケート結果で3業者が10社以上の商談引き合い＞

マイドームおおさかで行われた「まいどおおきに博」との併催の「和泉市ものづくりフェスタ」の出展企業にアンケートした結果、ブースに立ち寄られた見学者数は50～100人が5社、100人以上が1社、商談引き合いは10社以上が3社となりました。どれだけビジネスにつながるか不明な点もあったが、「予想通りまたは予想以上の効果があった」という答えが7社からありました。

ものづくりサポートセンターでは、今後もこのような展示会等を通じ、和泉市のものづくり企業を市内外に情報発信し「和泉市ブランド」を形成してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



出展企業一覧

イーPearl、大阪コートロープ（株）、大栄環境（株）、（株）スワトー、サン.サン.ラックkk、
 (有)ナカニシ、エースシステム（株）、（株）村上技研産業、（株）ケミック

企業誘致が進む「テクノステージ和泉」

110社を越す企業の進出



「テクノステージ和泉」の企業誘致は好調を継続し、本年2月現在の契約率が約93%で、現在交渉中の企業との契約が決まれば95%に達しようとしており、残り区画もあと数区画というところまでできております。

すでに操業をしている企業は、約70社以上におよび、従業員数も3,000人を超えるなど、本市の新たな産業拠点として動き出しています。

「テクノステージ和泉」が本格的に産業団地として機能してきたことから、昨年7月に操業中の約50社について、市内企業との業務連携の現状及び今後の方針についてアンケート調査を実施しました。

アンケート調査の結果では、まだまだ市内企業との連携は少ないことが明らかになりましたが、各企業とも距離的に近くにある市内企業と今後協力関係を結ぶことは、企業経営上のメリットが多いとの認識があることが強く示されています。

また、現在の誘致率が約93%に達しており、企業の業種がほぼ確定してきたことから、アンケー

テクノステージ和泉の概要

所在地	和泉市テクノステージ一丁目～三丁目
開発地域	総面積103.4ha（南北2,000m 東西500m）
産業用地	面積61.15ha 総区画130区画
地域指定	都市計画法に基づく工業専用地域

企業誘致（進出）状況

（平成17年2月現在）

全 体		契 約 済		契約率 (面積率)	残	
区画	面積 (ha)	区画	面積 (ha)		区画	面積 (ha)
130	61.15	121	56.61	約93%	9	4.54

ト調査の結果ならびに統計調査を活用して、今後の経済効果等を推定した結果、最終的には、就業人員は約6,000人、工業製品出荷高は約1,700億円がテクノステージにおいて見込まれます。

「テクノステージ和泉」に進出した企業は活力にみなぎっており、各企業とも和泉市の社会経済の発展に貢献したいとの思いも強いことから、和泉市では、進出企業と市内企業をはじめ関係機関との連携を強化しながら、本市全体の活性化にむけた施策を講じてまいります。

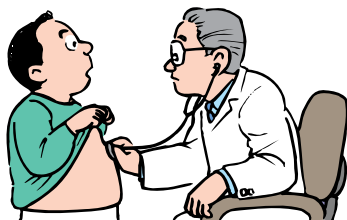
商工業者の経営をサポートします！ 和泉商工会議所

従業員の定期健康診断を

行っていますか

労働安全衛生法では、従業員の健康管理のため、従業員の健康診断を行うこととなっています。

和泉商工会議所では市の助成を受けて、商工会議所会員、会員以外の事業主や従業員の方の定期健康診断を実施しています。



受診者10人以上の事業所へは、移動検診車を派遣致します。受診者が9人以下の事業者は年に1度和泉商工会議所で集団検診を行っています。

☆労働安全衛生法に定める定期健康診断

定期健康診断A（35歳未満及び36歳～39歳の方）

既往歴・業務歴の調査、自覚症状(所見)の有無、身長、体重測定、視力検査、聴力検査(オーディオ)、尿検査(糖・蛋白)、血圧測定、胸部X線間接撮影、内科診察

定期健康診断B（35歳の方及び40歳以上の方）

健康診断Aに加え心電図検査、血液検査<肝機能（GOT、GPT、γ-GTP）、血中脂質（血清総コレステロール、HDLコレステロール、血清トリグリセライド）、血糖、貧血（赤血球、血色素量、白血球数、ヘマトクリット）、肝機能、痛風（尿酸）、膵臓（アミラーゼ）>
検診内容と受診料について（消費税含む）

1. 労働安全衛生法に定める定期健康診断

定期健康診断A（35歳未満の方及び36～39歳の方）

受診料	会 員	一人あたり	1, 575円
	非会員	〃	2, 625円

定期健康診断B（35歳の方及び40歳以上の方）

受診料	会 員	一人あたり	5, 250円
	非会員	〃	8, 400円

※上記の年齢については、実施年度の満年齢となり、基本的に定期健康診断基本項目はBとなりますが、産業医やかかりつけの医師の判断により、心電図、血液検査は省略可能であり、健康診断A項目を選択して頂いてもか

まいません。

2. その他の健康診断

○大腸癌検査：便潜血ヒトヘモグロビン1回法・便潜血ヒトヘモグロビン2回法（選択）

受診料	1回法	会 員	一人あたり	1, 575円
		非会員	〃	2, 625円
	2回法	会 員	一人あたり	2, 152円
		非会員	〃	3, 675円

○胃部検査 胃部X線間接撮影

受診料	会 員	一人あたり	3, 675円
	非会員	〃	6, 300円

○乳がん検査 マンモグラフィ検査

受診料	会 員	一人あたり	4, 200円
	非会員	〃	7, 350円

※検査予定日に受診者が40名以上必要となりますので、定員に達しない場合は、受診できるかは申込締切後ご通知致します。

3. 業種等により実施を義務付けられている特殊健康診断

○じん肺検診（じん肺法第3条、第7条～第9条の2）

受診料	会 員	一人あたり	3, 675円
	非会員	〃	5, 250円

○有機溶剤検診（有機溶剤中毒予防規則第29条）

受診料 使用する有機溶剤等により異なります。

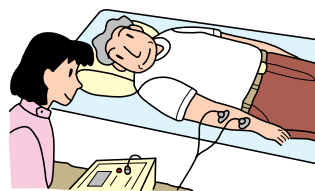
※商工会議所会員以外の人上記受診料に1, 575円増し（一人あたり）とさせていただきます。

○鉛検診

鉛吸入量のモニタリングと鉛吸引による造血障害、腎障害、神経障害などについて検査します。

受診料	会 員	一人あたり	8, 925円
	非会員	〃	10, 500円

問：和泉商工会議所事務局 ☎0725-46-4141



独立行政法人「中小企業基盤整備機構」も応援します 経営者の退職金制度

小規模企業共済制度

小規模企業の個人事業主または会社等の役員が、事業を廃止した場合や、役員を退職した場合に、生活の安定や事業の再建などを図るための資金をあらかじめ準備しておく共済制度で、いわば国がつくった「経営者の退職金制度」といえるものです。

中小企業を連鎖倒産から守ります

倒産防止共済制度

取引先が倒産した場合、積み立てた掛金総額の10倍の範囲内（最高3, 200万円）で回収困難な売掛金債権等の額以内の共済金の「貸付」が受けられます。

ただし、貸付額の1/10に相当する額が掛金総額から控除されます。

問：和泉商工会議所 ☎0725-46-4141

中小企業基盤整備機構近畿支部 ☎06-6910-2235

受け継がれる伝統工芸

和泉市の地場産業として「人造真珠」、「ガラス細工」、「綿織物」があります。
今回は泉州織物の今なおつづく伝統技法を紹介します。

泉州織物産地の歴史

日本最大の泉州機業地の発祥は非常に古く、600余年前の室町時代に、この地で綿の栽培を行い、それを手紡・手織したのが始まりとされています。

江戸時代には「和泉木綿」の名で広く日本中に知れわたり、国内の中心的な綿業地帯を形成するに至ったのです。

以来、数々の変遷を経て、静岡県、兵庫県、愛知県と共にわが国の四大産地の一つとして発展してきました。

現在では、衣料用織物を始め工業資材用織物、衛生材料用織物など広範囲にわたる数多くの品種を製織。さらには、海外市場への輸出や国内需要に対する素材供給基地としても大きく発展を遂げてきました。

浴衣に代表される和泉木綿は、現在でも伝統技法を継

承しながら和晒・注染の加工工程を経て、木綿のやさしさ、注染の深みのある光沢とともに商品にいかされています。

問い合わせ先

泉州織物工業協同組合

〒594-0073

和泉市和気町一丁目30-9

TEL : 0725-41-0124 / FAX : 0725-41-7990

URL : <http://www2.odn.ne.jp/sensyu>

Email : sensyu@pop06.odn.ne.jp

12、完成品



新たな提案で拓く新時代
伝統に驕ることなく、地場産業の一層の反映をめざし、常に変化する消費需要に適合した新製品の開発、供給、さらに新しい流れを創り出すべく挑戦し続けています。

1、経糸整経
たていとせいけい



2、サイジング（糊付）



3、管巻き（緯糸）
くだ よこいと



4、織布



5、検反
けんたん

6、精練・漂白（和晒上げ）
わざらし



7、型置（板場）

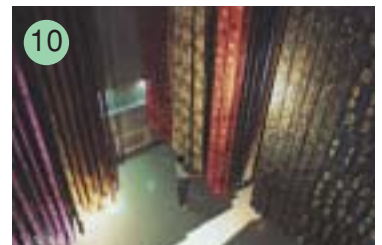


8、そそぎ染（壺人）
つぼんど



9、水洗（浜）

10、乾燥（立干し）し
たてぼ



11、糊付・巾出し・湯のし

第32回大阪インターナショナル「ギフト・ショー」に出展

平成16年9月28日から30日までマイドームおおさかで開かれました第32回大阪インターナショナル「ギフト・ショー」に出展しました。

